

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 2月 28日

事業所名 URAURA稲生

保護者等数(児童数) 23 回収数 17 割合 73.9%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	88.2%	5.9%	0.0%	5.9%		・感染症対策を講じながら、活動ルーム以外の食堂や学習室などをうまく活用しながら活動を行っています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	88.2%	5.9%	0.0%	5.9%		・配置数は適正です。専門性もより向上できるように努力していきます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	94.1%	5.9%	0.0%	0.0%		・様々な方にご利用して頂けるよう、バリアフリー化に努めます。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	88.2%	11.8%	0.0%	0.0%		・保護者様、相談支援員、児童発達支援管理責任者と利用者様のニーズを併せて進めていきます。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	94.1%	0.0%	0.0%	5.9%		・状況に応じた活動を提供できるよう心掛けます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	23.5%	5.9%	11.8%	58.8%		・リモート活動などを取り入れながら、交流の機会を作っていきます。
保護者 への 説明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%	0.0%	0.0%	0.0%		・十分に理解して頂けるよう説明をしていきます。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	88.2%	11.8%	0.0%	0.0%	送迎時、スタッフの方と会えないと連絡帳で活動内容を確認するので、もう少し、細かく書いて頂けたら嬉しいです。	・口頭やお便りだけでなく、SNS等も使用しながら今後もお伝えできるように努めます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	70.6%	23.5%	5.9%	0.0%		・今後も面談の機会を多く作れるように努めていきます。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	76.5%	5.9%	5.9%	11.8%		・コロナ禍により保護者会等の機会があまり作れなかったため、対策を取りながら機会の増加を目指します。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	94.1%	5.9%	0.0%	0.0%		・苦情等があった際、迅速に対応できるよう、普段から職員全員で対応の統一を図っていきます。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	94.1%	5.9%	0.0%	0.0%		・電話や新聞の他、ラインや今後はズーム等でのオンラインでも対応できるよう検討していきます。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	88.2%	11.8%	0.0%	0.0%		・法人のホームページに掲載し、保護者様にも見て頂くよう伝えていきます。
14 個人情報に十分注意しているか	100%	0.0%	0.0%	0.0%		・情報漏洩等のないよう、十分に注意して対応していきます。	

非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	70.6%	5.9%	0.0%	17.6%	・状況は変化していくので、現状に対応したマニュアルを作成し、保護者様への周知を図っていきます。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	58.8%	11.8%	0.0%	29.4%	・定期的に訓練等を行い、児童にも非常時に対する意識をもって貰えるよう努めます。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	94.1%	5.9%	0.0%	0.0%	・より楽しんで頂けるような活動や支援を考えていきます。
	18	事業所の支援に満足しているか	94.1%	5.9%	0.0%	0.0%	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 2月 28日

事業所名 URAURA稲生

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	・状況に応じて、食堂や学習室なども活動の場として使用している。	・適切である。感染対策も取りながら、三密にならないよう、支援を実施していく。
	2	職員の配置数は適切である	75%	25%	・欠員がでたときに対応できるよう、同法人のURAURA八野と協力体制を構築している。	・適切ではあるが、少人数の職員体制なので、職員の休みが発生した時に児童・保護者様に迷惑をかけないよう、勤務体制を確立していく必要がある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0%	100%		・玄関等、一部バリアフリーになっていないところもあるので、必要に応じて変更していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加している	100%	0%		・日々の打ち合わせや会議、OFF-JT等で業務改善を進めていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		・保護者様等からの意見を全職員で周知し、改善に繋げていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%		・今年度も同様、HP上で公表する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	50%	50%		・評価結果を反映させ、改善に繋げていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%		・年間計画を立て、必要な研修を実施している。また、随時追加研修等も行っていく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		・最新のアセスメント情報と児童・保護者様のニーズに基づき、計画を作成していく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%		・必要に応じてアセスメントの改善を図っていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%		・職員全員で意見を出し合って決めている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	利用者・ご家族から要望を頂き、反映させている。	・利用者や保護者からの意見を頂き、ブラッシュアップできるよう、心掛けている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%		・利用者の特性や状況に合わせて支援を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		・子供の特性や状況に合わせ計画を作成していく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	休日の場合でもライン等で伝達を行っている。	・全員でミーティングを行い、業務の漏れがないよう努めている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	・支援中や昼食時も情報共有に努めている。	・全員でミーティングを行い、次回に繋がるよう意見を出しあい改善に繋げている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	75%	25%		・業務多忙になると、記録が抜けてしまうことがあるので、声掛けしながら漏れの無いよう確認していく。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%		・定期的にモニタリングを実施している。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	100%	0%		・職員間でガイドラインの総則の理解に努めている。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%		・児童発達支援管理責任者やケース担当者が参画している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	・学校のメールやアプリを活用させてもらっている。	・こまめに連絡をし情報共有や確認を行っている。特に変則的な時間割の時は注意を払っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	75%	25%		・現在は医療的ケアが必要な児童もいないが、必要に応じて看護師の配置や主治医との連携を強化していく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%		・情報共有、情報交換に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%		・特性や支援内容などを情報を伝えられるよう努めている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%		・他機関との連携を図り、適宜必要な研修等を受けるように努めている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	100%		・現在のところ、ほとんど交流等できていないが、感染対策に努めながら今後交流会等を進めていく。また、リモートでの交流機会も作っていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	25%	75%		・コロナ禍により、参加の回数が減っている。今後は積極的に参加を行っていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%		・送迎時やお迎えの際など伝達を行っているが、より情報を伝達できるよう、他の方法も模索していく。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	50%	50%		・実施できてない部分が多いので、まずは職員自身がしっかりと知識を身につけられるよう、研修等検討していく。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	50%	50%		・最初に説明し、その後更新できていないこともあるので、定期的に説明を行っていく必要がある。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%		・保護者の都合に合わせて、できる限り時間を確保して話し合いの機会を作っていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	25%	75%		・保護者同士の相談等の場を作れるよう努めていく。見学会や保護者会などの実施を検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		・迅速に対応できるよう、常日頃から職員間で対応等の意識統一を図っておく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	25%	75%		・常に最新の情報を伝えられるよう、発信スピード、発信方法を検討していく。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%		・情報管理、情報漏洩の防止の徹底を今後も図っていく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		・ご家庭によって事情が様々であることを考慮し、発信方法等を検討する。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	25%	75%		・コロナ禍により、外部の方との交流が難しい状況ではあるが、感染対策に努め、機会を作っていく。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	75%	25%	・防災訓練等の実施についてはお伝えしているが、その他の部分でできていない項目も多いので、周知できるよう伝達手段を検討していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	・定期的に訓練等を実施している。実際の避難誘導場所への移動訓練なども今後組み込んでいく必要がある。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	75%	25%	・職員会議等で定期的に研修を実施していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	・契約時に説明を行っていく。身体拘束については必要な場合は書面での確認も行う。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	・ご家族へアレルギー等について聞き取り、弁当購入やおやつ提供の部分で確認しながら食べて頂いている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	75%	25%	・全職員で共有を図り、業務改善及び支援向上に努めている。